

学振第 175 委員会 第 16 回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム イノベティブ PV 賞の受賞

受賞概要

太陽電池をエネルギー変換素子に用いた太陽光発電は、地球温暖化ガスを排出しないクリーンなエネルギーとして期待されています。学振第 175 委員会は、2020～2030 年の大規模導入を目指した次世代太陽光発電システムについて、従来の組織の壁を越えて、太陽電池材料、太陽電池技術、システム技術分野を含めた学界、産業界の研究者、技術者が組織横断的に情報交換や、協同で研究を行うことを目的に平成 16 年 4 月に設立されました。

学振第 175 委員会主催の「次世代の太陽光発電システム」シンポジウムは、太陽光発電に関する全国の研究者が集うシンポジウムであり、国内の太陽光発電の会議としては最大のものであります。

今回、第 16 回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウムイノベティブ PV 賞を受賞した講演は、「宮崎の特長を活かした太陽光発電応用研究開発」についてであり、太陽光発電の高効率化、その電力を活用した水素生成、さらには農業への応用について最新の成果を発表しました。本シンポジウムは 2019 年 7 月 5 日～6 日に開催され、イノベティブ PV 賞は運営委員による投票により選出されました。



授賞式の様子 中央に、西岡賢祐 教授

【詳細】

学会名：学振第 175 委員会 第 16 回「次世代の太陽光発電システム」シンポジウム

受賞者：工学教育研究部環境・エネルギー工学研究センター 西岡 賢祐 教授

URL：<http://www.gakushin175.org/cn10/corner258716/pg330.html>

イノベティブPV賞

西岡 賢祐, 霧村 雅昭,
永岡 章, 太田 靖之(宮崎大学) 殿

あなたは第十六回「次世代の太陽光発電システム」
シンポジウムにおいて優秀な下記の論文を発表され
ましたのでここにイノベティブPV賞を贈呈いた
します。

記

講演タイトル
宮崎の特長を活かした太陽光発電応用研究開発

2019年7月5日

日本学術振興会 産学協力研究委員会
次世代の太陽光発電システム第175委員会
委員長 小長井 誠

